
<水球陣>七帝戦第4戦

H26.8.24 対東北大 @京大プール

東大 8 3 5 3 計19

東北大 1 0 2 0 計3

得点者：池亀(1)、石田(1)、小笠原(1)、梶原(3)、小池(1)、根東(1)、藤目(4)、細江、(4)、川島(1)、谷口(2)

七帝戦第4試合目。東北大学はオープン参加で勝敗は順位に関係ないため、前半で試合を決めて後半はこれまで試合に出られていなかった選手中心に戦っていきたい。出場する選手は、少ない出場機会を活かせるようアピールしたい。

第1ピリオド

山田がセンターボールをとり試合開始。出場できる選手数に制限があるため、桐生、浪間抜きで戦う。フローターの浪間がないため、今試合は外周からのカットインを中心に攻撃を組み立てていく。梶原のハンツーによる得点を皮切りに、カウンターで石田、藤目らが連続で得点する。梶原の退水後の連係ミスから失点を許すも、その後はパスカットなどで守りきり、順調に得点を重ねて8-1でピリオドを終える。

第2ピリオド

ここから徐々に選手を入れ替えていく。開始早々、細江がフローティングで得点を決める。さらに藤目がカウンターで2得点するも、パスミスやポジショニングのミスなどでカウンターがつぶれる場面が多くみられ、これ以上の得点はできなかった。逆にこちらの退水などディフェンス面で危ないシーンのあるピリオドだった。

第3ピリオド

1年川島がガッツあふれるダッシュでセンターボールをとり、第3ピリオドが開始する。敵フローターへのパスを小池がカットし、これを起点とするカウンターで根東がミドルシュートを決める。マークミスなどによる失点はあったものの、度重なる攻撃で小笠原、小池らが得点し、点差を12点に広げた。

第4ピリオド

最終ピリオドは敵ボールから。細江のパスカットから出たカウンターは、川島がアンダーをとられ潰されてしまう。その後も敵の攻撃はパスカットやキーパー久田の好セーブで防ぐが、こちらの攻撃もパスミスやシュートミスが続き、得点に結びつかない。しかし、残り時間も3分を切った頃、右サイドで飛び出し、ディフェンスを振り切った川島が山田からのパスを受け、シュートを決める！1年川島の公式戦初得点に味方の士気は高まり、細江がダメ押しで2得点し、19-3で勝利した。

予定通り序盤で大差をつけ、選手をどんどん入れ替えることができた。川島の得点や久田の好セーブも見られ、大学から水球を始めた1年の成長が実感できた試合だった。一方で、全体を通してパスミスや、カウンターでのポジショニングミス、消極的なプレーが多くあり、まだまだ練習を積み重ねる必要があると痛感した。最後になりましたが、監督を務めてくださった三宅さん、応援に来てくださった戸根川さん、阿内さん、飯塚さん、有吉さん、本当にありがとうございました。

(文責 谷口遼)
